

「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込み（案）

1. 「教育・保育」の量の見込み（案）

(1) 1号認定、2号認定（教育利用希望）

【国の算出方法等による「量の見込み」をそのまま活用し、区域間調整を行うもの】

<区域A>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み(1号)	1,561	1,500	1,423	1,364	1,336
②<国基準>量の見込み(2号教育)	292	281	266	255	250
③<国基準>量の見込み(合計)	1,853	1,781	1,689	1,619	1,586
④<最終調整後>量の見込み(合計)	1,727	1,660	1,575	1,509	1,479
⑤現在の利用人数	1,718	※令和元年5月1日現在			
差(⑤-④)	△9				

<区域B>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み(1号)	82	81	81	82	82
②<国基準>量の見込み(2号教育)	36	36	36	36	36
③<国基準>量の見込み(合計)	118	117	117	118	118
④<最終調整後>量の見込み(合計)	107	106	106	107	107
⑤現在の利用人数	83	※令和元年5月1日現在			
差(⑤-④)	△24				

<区域C>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み(1号)	256	247	235	210	194
②<国基準>量の見込み(2号教育)	43	41	39	35	33
③<国基準>量の見込み(合計)	299	288	274	245	227
④<最終調整後>量の見込み(合計)	436	420	399	366	345
⑤現在の利用人数	393	※令和元年5月1日現在			
差(⑤-④)	△43				

(2) 2号認定（保育希望）

【「量の見込み」自体を減補正し、区域間調整を行うもの】

<区域A>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	3,015	2,897	2,749	2,636	2,580
②<市基準>量の見込み	2,958	2,842	2,697	2,585	2,531
③<最終調整後>量の見込み	2,728	2,621	2,487	2,384	2,334
④現在の利用人数	2,384	※平成31年4月1日現在			
差(④-③)	△ 344				

<区域B>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	254	252	251	255	255
②<市基準>量の見込み	248	246	245	249	249
③<最終調整後>量の見込み	388	380	372	371	369
④現在の利用人数	370	※平成31年4月1日現在			
差(④-③)	△ 18				

<区域C>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	527	508	483	433	400
②<市基準>量の見込み	527	508	483	433	400
③<調整後>量の見込み	617	595	566	512	477
④<最終調整後>量の見込み	635	612	582	526	490
⑤現在の利用人数	635	※平成31年4月1日現在			
差(⑤-④)	0				

(3) 3号認定（0歳家庭のみ）

【「量の見込み」自体を減補正のうえ、「利用実績」を考慮し引き上げるもの】

<区域A>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	858	837	818	800	781
②<市基準>量の見込み	307	300	293	286	280
③<最終調整後>量の見込み	342	334	327	320	313
④現在の利用人数	342	※平成31年3月1日現在			
差(④-③)	0				

<区域B>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	68	68	67	67	66
②<市基準>量の見込み	15	15	15	15	15
③<最終調整後>量の見込み	28	28	28	28	28
④現在の利用人数	28	※平成31年3月1日現在			
差(④-③)	0				

<区域C>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	103	97	92	87	82
②<市基準>量の見込み	34	32	31	29	27
③<最終調整後>量の見込み	67	63	59	55	52
④現在の利用人数	67	※平成31年3月1日現在			
差(④-③)	0				

(4) 3号認定（1・2歳家庭のみ）

【「量の見込み」自体を減補正し、区域間調整を行うもの】

<区域A>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	1,906	1,865	1,823	1,782	1,740
②<市基準>量の見込み	1,482	1,450	1,417	1,385	1,353
③<最終調整後>量の見込み	1,435	1,404	1,372	1,341	1,310
④現在の利用人数	1,361	※平成31年4月1日現在			
差(④-③)	△74				

<区域B>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	201	201	199	196	195
②<市基準>量の見込み	146	146	145	143	142
③<最終調整後>量の見込み	160	159	158	156	154
④現在の利用人数	130	※平成31年4月1日現在			
差(④-③)	△30				

<区域C>

(人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	323	293	278	262	247
②<市基準>量の見込み	260	236	223	211	198
③<最終調整後>量の見込み	293	269	255	242	229
④現在の利用人数	270	※平成31年4月1日現在			
差(④-③)	△23				

2. 「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込み（案）

（1）時間外保育事業（延長保育事業）

【「量の見込み」を「利用実績」を考慮し引き上げるもの】

<区域A> (人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	1,519	1,472	1,417	1,372	1,341
②<補正後>量の見込み	1,675	1,623	1,562	1,512	1,478
③現在の利用人数	1,675	※平成30年度の実利用人数			
差(③-②)	0				

<区域B> (人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	94	94	93	93	93
②<補正後>量の見込み	208	208	206	206	206
③現在の利用人数	208	※平成30年度の実利用人数			
差(③-②)	0				

<区域C> (人)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	213	201	191	175	163
②<補正後>量の見込み	249	235	223	204	190
③現在の利用人数	249	※平成30年度の実利用人数			
差(③-②)	0				

（2）子育て短期支援事業（ショートステイ）

【国の算出方法等による「量の見込み」をそのまま活用するもの】

(人/年)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	544	526	507	489	476
②現在の利用人数	413	※平成30年度の延べ利用人数			
差(②-①)	△131				

(3) 地域子育て支援拠点事業（子育てプラザ）

【国の算出方法等による「量の見込み」をそのまま活用するもの】

(人/月)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	6,101	5,934	5,786	5,640	5,496
②現在の利用人数	5,837	※平成30年度の延べ利用人数			
差(②-①)	△264				

(4) 一時預かり事業

【「量の見込み」自体を減補正するもの】

①幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

(人/年)

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	1号	10,533	10,145	9,661	9,217	8,975
	2号教育	84,716	81,599	77,700	74,133	72,184
	合計	95,249	91,744	87,361	83,350	81,159
②<補正後>量の見込み	1号	9,062	8,729	8,312	7,931	7,722
	2号教育	54,081	52,091	49,602	47,325	46,081
	合計	63,143	60,820	57,914	55,256	53,803
③現在の利用人数	34,876	※平成30年度の延べ利用人数				
差(③-②)	△28,267					

②その他の一時預かり事業（保育所等）

(人/年)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	43,579	42,195	40,722	39,311	38,299
②<補正後>量の見込み	34,143	33,060	31,913	30,829	30,020
③現在の利用人数	5,444	※平成30年度の延べ利用人数			
差(③-②)	△28,699				

(5) 病児・病後児保育事業

【国の算出方法等による「量の見込み」をそのまま活用するもの】

(人/年)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<国基準>量の見込み	10,697	10,351	9,969	9,610	9,361
②現在の利用人数	4,090	※平成30年度の延べ利用人数			
差(②-①)	△6,607				

※前回の会議（令和元年6月20日開催）にて報告した「②現在の利用人数（834人）」には、在園児を対象とした病児保育事業（私立こども園2園、私立保育所1園で実施。）の利用人数（3,256人）が含まれていないため、病児・病後児保育事業の利用人数を合計4,090人に修正しています。

(6) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

【小学生を対象に実施したアンケート調査結果を活用し「量の見込み」を設定するもの】

		(人/週)				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<調査結果>量の見込み	低学年	84	80	77	76	73
	高学年	30	30	30	29	28
	合計	114	110	107	105	101
②現在の利用人数		83	※平成30年度の延べ利用人数			
差(②-①)		△31				

(7) 利用者支援事業

【アンケート調査によらずに「量の見込み」を設定するもの】

<特定型（保育コンシェルジュ）> (か所)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<独自>量の見込み	1	1	1	1	1

<母子保健型（子育て世代包括支援センター）> (か所)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<独自>量の見込み	2	2	2	2	2

(8) 乳児家庭全戸訪問事業

【アンケート調査によらずに「量の見込み」を設定するもの】

(人/年)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<独自>量の見込み	1,879	1,832	1,787	1,743	1,700

(9) 養育支援訪問事業

【アンケート調査によらずに「量の見込み」を設定するもの】

(人/年)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①<独自>量の見込み	64	64	64	64	64
②現在の利用人数	64	※平成30年度の訪問対象家庭数			
差(②-①)	0				

(10) 妊婦健診事業

【アンケート調査によらずに「量の見込み」を設定するもの】

(①対象人数：人/年、②健診回数：回/年)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
<独自>量の見込み(①対象人数)	2,819	2,748	2,681	2,615	2,550
<独自>量の見込み(②健診回数)	21,424	20,884	20,376	19,874	19,380